

授業コード (Code)	科目名 (Class)	開講セメスター (Semester)	曜日・時限 (Day of the Week, Period)	単位数 (Credit)	授業担当者 (Instructor)
113002	一年次セミナー 101 (FYE工情報通信)	春学期	火曜1限 火曜2限	2.0	早川 博章

授業概要 (Course Outline)

この科目は秋学期に開講される「一年次セミナー102」と合わせ、新しく大学に入学した者を対象に、大学生活を成功させるための戦略と戦術を提供する。この科目をととして学生は玉川大学における教育への積極的適応と同化をはかり、学修に対するモチベーションを向上させることが求められる。なお、授業では、①社会人としての自由と責任、②批判的思考方法と論理的解決能力の養成、③大学生としての基本的な読解力、文章力、コミュニケーション能力の養成、④大学4年間の学修戦略、⑤大学の支援資源の活用方法、⑥近年注目されつつある、個人情報、データ倫理、AI社会原則等を集中的に学ぶ。

授業を通して修得できる力 (Competency Goals)

知識・理解 Knowledge and Understanding	多文化・異文化に関する知識の理解 Cross-cultural Understanding	
	人類の文化、社会と自然に関する知識の理解 Culture / Society / Nature	
汎用的技能 Generic Skills	コミュニケーション・スキル Reading / Writing / Speaking / Listening	○
	数量的スキル Mathematics	
	情報リテラシー Information Literacy	
	論理的思考力 Logical Thinking / Creative Thinking	
	問題解決力 Problem Solving	
態度・志向性 Personal Qualities	自己管理能力 Self-management	○
	チームワーク Teamwork	
	リーダーシップ Leadership	
	倫理観 Ethical	
	市民としての社会的責任 Social Responsibility	
	生涯学習力 Lifelong Learning	

到達目標 (Objectives)

- ユニバーシティ・スタンダード科目、専門科目を問わず、大学で学ぶ学問の重要性を他者に説明することができる。
- 4年間、規則正しく計画的に学修する習慣を身につけることの意義とそのための技術を具体的に述べることができる。

先行履修科目の有無は、学生要覧で確認すること。

授業計画 (Course Schedule)

	テーマ(Theme)
第1回	オリエンテーション
第2回	なぜ大学で学ぶのか
第3回	時間管理の技術—有意義な大学生活の送り方
第4回	セルフ・マネジメントの技術 I—犯罪から自身や家族をどう守るか
第5回	効果的な学修方法
第6回	GPS-Academic フォローアップ
第7回	ノートをとる
第8回	試験を受ける
第9回	中間試験
第10回	読書の方法
第11回	文章作成の方法 I : レポート、エッセイの書き方

令和4

第12回	文章作成の方法Ⅱ：レポート、エッセイの書き方		
第13回	文章作成の方法Ⅲ：レポート、エッセイの書き方		
第14回	コンピュータとインターネットの活用法Ⅰ－大学の学修・研究における利用の仕方		
第15回	セルフ・マネジメントの技術Ⅱ－大学生の精神(こころ)とからだ		
教科書 (Textbooks)			
書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBN コード (ISBN Code)
『大学生生活ナビ』(第二版)	小原芳明(監) 玉川大学(編)	玉川大学出版部	9784472404337
『大学生のための「読む・書く・プレゼン・ディベート」の方法』	松本茂 著 河野哲也 著	玉川大学出版部	
参考文献 (Reference Books)			
書名 (Title)	著者名 (Author)	出版社 (Publisher)	ISBN コード (ISBN Code)
玉川大学学生要覧「学生生活ガイド」	別途配布資料		
薬物乱用防止に関する資料	別途配布資料		
シラバスに関する資料	別途配布資料		
成績評価方法 (Grading Criteria)			
成績評価の種類 (type)	割合 (Percentage)	評価基準 (Grading Criteria)	
試験 (Exam)	50	○それまでの学修内容を踏まえた上で、設問に対する自己の見解を、他者に文章で適切に説明することができる。【中間：25% 定期：25%】	
レポート (Report)			
授業における取り組み (Class Participation)	10	○授業外学修に取り組んだ上で授業に参加できる。 ○学修内容(授業外学修を含める)をふまえて発表等を行うことができる。 ○グループワーク等に積極的に参加し、他者と協働して課題に取り組むことができる。	
課題等の取り組み (Assignment.)	40	○授業外学修も含み、各回の授業内容を「学修ポートフォリオ」を使用して整理することができる。 ○各回の学修内容を踏まえた上で、提示された課題に対して文章で適切に回答することができる。	
ポートフォリオの作成 (Portfolio)			
備考 (Note)			